

子どもの安全なスマートフォン 利用のために

子どもがスマートフォンを利用する際には、親子で話し合いながら、使う時間、対処の仕方、ルールを守れなかった場合の対応などのルールを決めておきましょう。

【中学生向けルールの例】（スマートフォン利用の注意点チェックリストとしてもご利用ください）

使い方のルール	✓
利用してもいい時間【平日 : ~ : 休日 : ~ : 】	
アプリに使える金額は1ヶ月に_____円までとする	
ルールを守れなかったときは「一時利用停止」する	
トラブルにあったらすぐに保護者か先生に相談する	
有害サイト・迷惑メールのトラブルを防ぐために	✓
Web（Wi-fi利用時も）・メール・アプリの3つのフィルタリングを設定する	
アダルト系や犯罪・違法情報などを掲載している不適切なサイトは利用しない	
不用意に電話番号やメールアドレスを教えない	
知らない人からのメールやメッセージに返信しない	
ネットで知り合った人に誘われても会いに行かない	
迷惑メールやメッセージは開かない、返信しない	
料金請求メールが突然届いてもあわてて支払わない	
誰かに転送を促すチェーンメールやメッセージは無視して転送しない	
SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）でのトラブルを予防するために	✓
ネット上に名前や住所など個人情報に関する書き込みをしない	
情報を公開する範囲は友人のみなど「必要最低限」に設定する	
誹謗中傷や犯罪予告、悪ふざけなどは絶対に書き込まない	
ネット上に写真を掲載する時は肖像権や位置情報に注意する	
オリジナルルール	✓
歩きながらや自転車で乗りながらスマートフォンを使わない	

参 考

- スマホ・ケータイファミリーガイド on WEB（au）
<http://www.kddi.com/family/rules/>
- 家族で話そう！お子さまの携帯電話利用のルール（SoftBank）
<https://www.softbank.jp/mobile/support/3g/protect/kids/rule/>

●こんな時どうする？保護者のお悩みにお答えします

子どもから「あのアプリが使えないからフィルタリングを外して！」って言われて困っています。

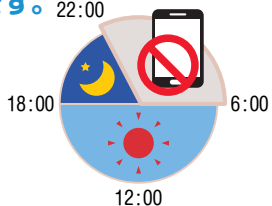
➤ アプリ起動のフィルタリングを設定したままでも、利用したいアプリがある場合には、そのアプリを個別に起動できるように設定変更することができます。

例えば、フィルタリング設定で起動できなくなっているアプリをどうしても利用したいのであれば、一覧からそのアプリを選んで起動できるようにしてください。

アプリの起動制限を外すと、そのアプリはフィルタリングサービスによる保護がなくなります。制限を外した後は、子どもが安全に使っているか、保護者の方がしっかり見守ってください。

子どもがスマートフォン依存にならないか心配です。 22:00

➤ フィルタリング機能のカスタマイズで、サイトアクセス可能時間帯の制限やWeb毎に起動可能時間帯の設定をして使い過ぎを防止することができます。



iPhoneで子ども向けの安全なアプリを知りたい！

➤ App Storeで配信されるアプリには、アプリ毎に対象年齢が設定されています。iPhone本体で「許可するAppのレート設定」を行うことで、まとめて対象年齢外のアプリのダウンロードを制限することができます。対象年齢は4+（4歳以上9歳未満）、9+（9歳以上12歳未満）、12+（12歳以上17歳未満）、17+（17歳以上）から選択できるので、お子様の年代に応じてレートを設定すると、対象外のアプリは表示されないようになります。



「設定」>スクリーンタイム>コンテンツとプライバシーの制限>コンテンツ制限の「App」の順にタップ。許可するAppのレートに対象年齢を選んでください。

例えば、「12+」に設定すると【App Store】から「17+」のレーティングがかけられたアプリはダウンロードすることが出来ません。

